

# マイクロマシン／MEMS 分野関連 【2019年6月の経済報告】

2019年6月20日

本稿は、マイクロマシン／MEMS 分野を取り巻く経済・政策動向のトピックをいろいろな観点からとらえて発信しています。2019年6月の経済報告をお届けします。

## 掲載内容

1. 全般動向（内閣府発表 景気動向指数より）
2. 各経済指標
  - ・内閣府公表 月例報告、機械受注統計調査報告 より
  - ・経済産業省公表 鉱工業指数調査より
3. その他の動向

## 1. 全般動向

### ■ 景気動向指数（内閣府、2019年4月分（速報）より抜粋） （2019年6月7日発表）

4月のCI（速報値・平成27(2015)年=100）は、先行指数：95.5、一致指数：101.9、遅行指数：104.6となった。

先行指数は、前月と比較して0.2ポイント下降し、2か月連続の下降となった。3か月後方移動平均は0.24ポイント下降し、10か月連続の下降となった。7か月後方移動平均は0.56ポイント下降し、11か月連続の下降となった。

一致指数は、前月と比較して0.8ポイント上昇し、2か月ぶりの上昇となった。3か月後方移動平均は0.50ポイント上昇し、6か月ぶりの上昇となった。7か月後方移動平均は0.01ポイント上昇し、6か月ぶりの上昇となった。

遅行指数は、前月と比較して0.1ポイント上昇し、3か月ぶりの上昇となった。3か月後方移動平均は0.07ポイント下降し、2か月ぶりの下降となった。7か月後方移動平均は0.07ポイント上昇し、2か月ぶりの上昇となった。

詳細は以下の内閣府HPをご参照下さい。（景気動向指数の概要 pdfへ）

<https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/di/201904psummary.pdf>

## 2. 各経済指標

### ■ 月例報告（内閣府、月例経済報告等に関する関係閣僚会議資料より） （令和元年6月18日公表）

#### <日本経済の基調判断>

（現状）

- ・景気は、輸出や生産の弱さが続いているものの、緩やかに回復している。

（先行き）

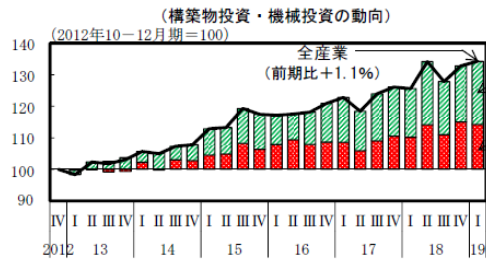
- ・先行きについては、当面、弱さが残るものの、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、通商問題の動向が世界経済に与える影響に一層注意するとともに、中国経済の先行き、海外経済の動向と政策に関する不確実性、金融資本市場の変動の影響に留意する必要がある

#### 今月のポイント(1)

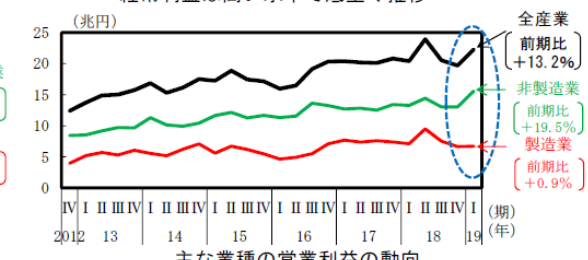
##### ー設備投資の増加を支える高い水準の企業収益ー

- 中国経済の減速からその動向が注目されている設備投資は、非製造業を中心に増加傾向が続いている。製造業については、機械投資には弱い動きがみられるものの、第4次産業革命への対応からソフトウェア投資は昨年来高い伸びを続けている。
- 設備投資の原資となる企業収益についても、非製造業を中心に底堅く、高い水準が続いている。ただし、電気機械産業など中国経済の減速の影響を受けやすい業種では足もと減益となっている点には留意が必要。一方、堅調な建設投資を背景に建設業は増益が続いている。

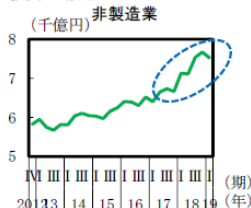
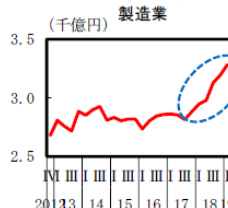
設備投資は緩やかな増加傾向



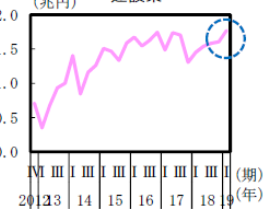
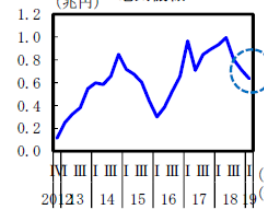
経常利益は高い水準で底堅く推移



(ソフトウェア投資の動向)



主な業種の営業利益の動向



- （備考）1. 財務省「法人企業統計季報」（企業の単体決算を対象）により作成。  
2. 左上図は、名目設備投資額（固定資産に新たに付加された額、ソフトウェアを除く）の季節調整値。括弧内は2019年1-3月期の前期比。  
3. 左下図は、ソフトウェア投資額の内閣府による季節調整値。4四半期移動平均値。  
4. 右上図は、季節調整値（括弧内は2019年1-3月期の前期比）。右下図は、内閣府による季節調整値。

詳細は以下の内閣府 HP をご参照下さい。（月例経済報告資料 pdf へ）

<https://www5.cao.go.jp/keizai3/getsurei/2019/06kaigi.pdf>

■ 設備投資（令和元年6月12日 内閣府 経済社会総合研究所 公表より抜粋）  
2019（平成31）年4月実績： 機械受注統計調査報告

機械受注総額の動向をみると、2019（平成31）年3月前月比4.3%減の後、4月は同4.3%増の2兆3,520億円となった。

需要者別にみると、民需は前月比10.7%増の1兆903億円、官公需は同93.4%増の2,946億円、外需は同24.7%減の8,083億円、代理店は同4.4%増の1,310億円となった。

民間設備投資の先行指標である「船舶・電力を除く民需」の動向をみると、2019（平成31）年3月前月比3.8%増の後、4月は同5.2%増の9,137億円となった。このうち、製造業は同16.3%増の4,001億円、非製造業（除く船舶・電力）は同1.2%増の5,176億円となった。

対前月(期)比

(単位:%)

需要者	期・月	2018年 (平成30年)			2019年 (平成31年)		2019年 (平成31年)			
		4-6月 (実績)	7-9月 (実績)	10-12月 (実績)	1-3月 (実績)	4-6月 (見通し)	1月 (実績)	2月 (実績)	3月 (実績)	4月 (実績)
受注総額		1.8	1.7	2.5	-10.4	10.9	-7.9	5.4	-4.3	4.3
民需		7.3	1.2	-5.7	-0.9	9.7	0.0	-1.1	-3.5	10.7
〃（除船電）		1.6	1.5	-3.2	-3.2	15.7	-5.4	1.8	3.8	5.2
製造業		4.7	-1.0	-4.1	-7.7	11.7	-1.9	3.5	-11.4	16.3
非製造業（除船電）		0.4	3.4	-1.9	-0.3	18.8	-8.0	-0.8	13.4	1.2
官公需		4.4	17.9	-6.3	-24.1	48.5	2.7	2.2	-37.7	93.4
外需		-1.0	-0.5	10.4	-12.3	1.1	-18.1	19.0	9.0	-24.7
代理店		2.9	-0.6	4.4	-5.7	3.8	-1.3	-8.8	7.6	4.4

(備考) 季節調整値による。季節調整系列は個別に季節調整を行っているため、需要者別内訳の合計は全体の季節調整値とは一致しない。

詳細は以下の内閣府 HP をご参照下さい。

<https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/1904juchu.html>

■ 鉱工業指数調査 (2019年6月14日 経済産業省 公表より抜粋)

【2019年4月分】

鉱工業指数 (生産・出荷・在庫、生産能力・稼働率、生産予測指数)、製造工業生産予測指数  
～製造業の動きから見る日本の景気～

<概況>

- ・製造工業稼働率指数は、102.2で前月比1.6%の上昇であった。
- ・製造工業生産能力指数は、97.9で前月比-0.8%の低下であった。

製造工業生産能力指数、2015年=100

生産能力	原指数		
	指数	前月比(%)	前年同月比(%)
	97.9	-0.8	-0.5

製造工業稼働率指数、2015年=100

稼働率	季節調整済指数		原指数	
	指数	前月比(%)	指数	前年同月比(%)
	102.2	1.6	101.6	-0.5

鉱工業指数、2015年=100

	季節調整済指数		原指数	
	指数	前月比	指数	前年同月比
生産 (速報値)	102.8 (102.8)	0.6 (0.6)	100.6 (100.6)	-1.1 (-1.1)
出荷 (速報値)	102.7 (102.6)	1.8 (1.7)	98.8 (98.7)	-1.4 (-1.5)
在庫 (速報値)	103.8 (103.8)	0.0 (0.0)	101.2 (101.2)	1.2 (1.2)
在庫率 (速報値)	104.6 (104.5)	-2.4 (-2.5)	105.3 (105.2)	2.0 (1.9)

なお、詳細は以下の経済産業省 HP をご参照下さい。

<http://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result-1.html>

<2019年4月の製造工業生産能力指数・稼働率指数の動向>

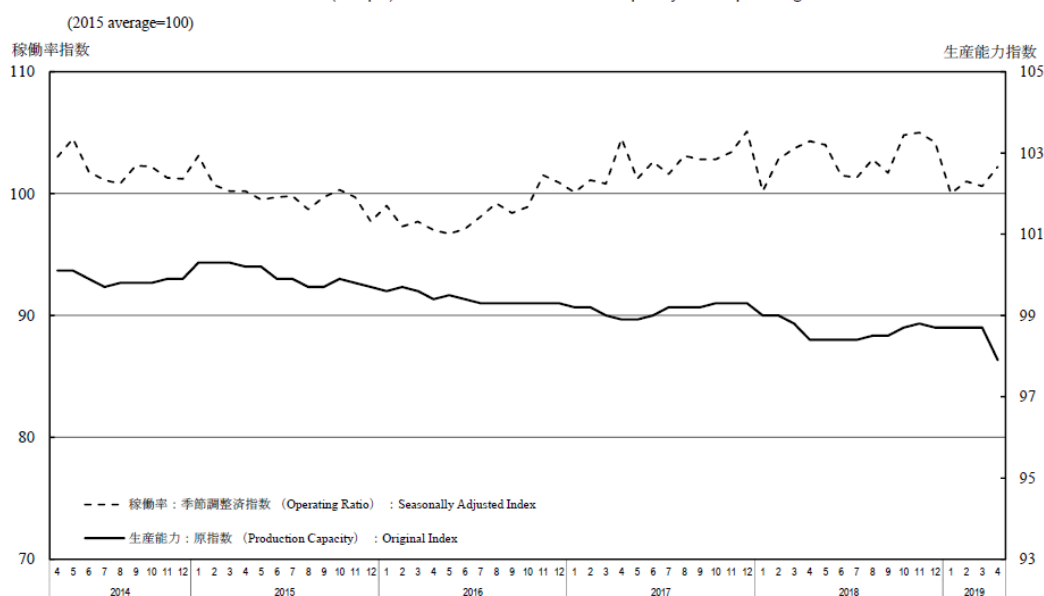
- (1) 4月の製造工業生産能力指数は、97.9で前月比-0.8%の低下であった。  
業種別にみると、電子部品・デバイス工業同-8.7%、化学工業同-0.5%、電気・情報通信機械工業同-0.4%等が低下し、生産用機械工業同0.3%、窯業・土石製品工業同0.3%が上昇した。
- (2) 4月の製造工業稼働率指数は、102.2で前月比1.6%の上昇であった。  
業種別にみると、輸送機械工業同5.5%、電子部品・デバイス工業同17.7%、金属製品工業同2.6%等が上昇し、化学工業同-2.3%、電気・情報通信機械工業同-1.3%、生産用機械工業同-1.1%等が低下した。

製造工業生産能力指数・稼働率指数の時系列表  
Historical Data for Indices of Production Capacity and Operating Ratio

index.2015= 100

年 月	生産能力(末) Production Capacity			稼働率 Operating Ratio				Year and Month
	原指数 Original Index		前年 (同月期)比 %Change From Previous Year	季節調整済指数 Seasonally Adjusted Index		原指数 Original Index		
	前月(期)比 %Change From Previous Month/Quarter	前月(期)比 %Change From Previous Month/Quarter		前月(期)比 %Change From Previous Month/Quarter	前年 (同月期)比 %Change From Previous Year			
2016 年	99.3		-0.4			98.5	-1.5	C.Y. 2016
2017	99.3		0.0			102.3	3.9	C.Y. 2017
2018	98.7		-0.6			103.1	0.8	C.Y. 2018
2016 年度	99.0		-0.6			99.2	-0.1	F.Y. 2016
2017	98.8		-0.2			102.7	3.5	F.Y. 2017
2018	98.7		-0.1			102.5	-0.2	F.Y. 2018
2018 年 I 期	98.8	-0.5	-0.2	102.2	-1.5	103.8	1.4	Q1 2018
II 期	98.4	-0.4	-0.6	103.3	1.1	101.8	0.6	Q2
III 期	98.5	0.1	-0.7	101.9	-1.4	101.0	-1.1	Q3
IV 期	98.7	0.2	-0.6	104.7	2.7	105.7	2.0	Q4
2019 年 I 期	98.7	0.0	-0.1	100.5	-4.0	101.5	-2.2	Q1 2019
2018 年 2月	99.0	0.0	-0.2	102.8	2.6	101.6	1.4	Feb. 2018
3月	98.8	-0.2	-0.2	103.7	0.9	112.2	1.4	Mar.
4月	98.4	-0.4	-0.5	104.3	0.6	102.1	2.4	Apr.
5月	98.4	0.0	-0.5	104.0	-0.3	99.8	3.0	May
6月	98.4	0.0	-0.6	101.5	-2.4	103.5	-3.3	Jun.
7月	98.4	0.0	-0.8	101.3	-0.2	105.0	0.3	Jul.
8月	98.5	0.1	-0.7	102.8	1.5	97.1	-0.3	Aug.
9月	98.5	0.0	-0.7	101.7	-1.1	100.9	-3.3	Sep.
10月	98.7	0.2	-0.6	104.8	3.0	107.9	3.9	Oct.
11月	98.8	0.1	-0.5	105.0	0.2	107.2	2.9	Nov.
12月	98.7	-0.1	-0.6	104.2	-0.8	102.0	-0.7	Dec.
2019 年 1月	98.7	0.0	-0.3	100.0	-4.0	97.4	-0.2	Jan. 2019
2月	98.7	0.0	-0.3	101.0	1.0	99.8	-1.8	Feb.
3月	98.7	0.0	-0.1	100.6	-0.4	107.2	-4.5	Mar.
4月	97.9	-0.8	-0.5	102.2	1.6	101.6	-0.5	Apr.

製造工業生産能力指数・稼働率指数の推移(グラフ)  
Historical Data (Graph) for Indices of Production Capacity and Operating Ratio



詳細は以下の経済産業省 HP をご参照下さい。(指数の動向資料 pdf へ)  
[https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result/pdf/press/b2015\\_201904nj.pdf](https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result/pdf/press/b2015_201904nj.pdf)

### 3. その他の動向

#### ■ 電子部品グローバル出荷統計

(2019年5月31日、一般社団法人電子情報技術産業協会 (JEITA) 発表より抜粋)  
最新版月別出荷金額

- ・ 2019年3月グローバル出荷額は3,255億円、前年比98.8%となり、前年比マイナスとなった。
- ・ 品目別出荷は受動部品（前年比106.1% 1,387億円）、接続部品（同96.8% 847億円）、変換部品（同94.1% 592億円）、その他の電子部品（同88.8% 426億円）となった。
- ・ 地域別出荷は、日本（前年比94.8% 777億円）、米州（同110.8% 369億円）、欧州（同101.9% 366億円）、中国（同96.0% 1,028億円）、アジア・その他（同100.8% 717億円）となった。

#### 【月別出荷金額】

1. 月別出荷金額 (2019.05.31 発表：毎月更新)

電子部品出荷額 (億円)	2018年度						2018年度累計	
	1月		2月		3月		4月-3月	
	金額(億円)	前年比 (%)	金額(億円)	前年比 (%)	金額(億円)	前年比 (%)	金額(億円)	前年比 (%)
世界計	3,260	91	2,787	95	3,255	98	40,261	99
(日本)	711	82	730	98	777	94	9,406	96
受動部品	1,444	107	1,190	107	1,387	106	16,951	112
コンデンサ	1,051	111	872	113	1,013	110	12,199	118
抵抗器	131	99	117	99	130	94	1,628	104
トランス	38	101	34	98	38	94	462	102
インダクタ	219	95	162	86	202	94	2,624	97
その他	2	0	2	0	3	0	36	0
接続部品	774	84	716	84	847	96	10,167	90
スイッチ	357	87	322	87	413	111	4,334	89
コネクタ	412	81	389	82	430	86	5,775	91
その他	4	86	3	80	4	75	57	92
変換部品	608	75	520	91	592	94	7,836	92
音響部品	149	65	117	82	121	72	1,713	78
センサ	268	91	242	92	265	99	3,415	98
アクチュエータ	190	67	160	96	205	105	2,707	96
その他の電子部品	433	89	360	90	426	88	5,305	93
電源部品	166	84	149	80	182	87	2,155	89
高周波部品	266	92	210	99	244	90	3,150	95

#### 【地域別出荷金額】

2. 地域別出荷金額

《2018年度》

地域別出荷金額 (億円)	2018年度						2018年度累計	
	1月		2月		3月		4月-3月	
	金額(億円)	前年比 (%)	金額(億円)	前年比 (%)	金額(億円)	前年比 (%)	金額(億円)	前年比 (%)
グローバル	3,260	91	2,787	95	3,255	98	40,261	99
日本	711	82	730	98	777	94	9,406	96
米州	381	112	316	100	369	110	4,167	112
欧州	386	102	355	103	366	101	4,089	103
中国	1,017	84	785	92	1,028	96	13,644	97
アジア他	767	99	604	89	717	100	9,003	99

※電子部品グローバル出荷統計について

- ・ 本統計は、電子部品部会で実施している「電子部品企業のグローバル動向調査」を基に作成しております。
  - ・ 本調査は、参加70数社から提出された、連結ベース（グループ間取引調整後）の出荷額データを取りまとめており、地域に関するデータは、原則として該当部品が消費される地域への出荷になります。
- なお、合計値につきましては、単位未満切り捨てのため、一致しない場合がありますので、ご了承ください。

詳細は以下の JEITA HP をご参照下さい。

[http://home.jeita.or.jp/ecb/information/info\\_stati.html](http://home.jeita.or.jp/ecb/information/info_stati.html)

## ■ MEMS 関連最新調査

米国調査会社マインドコマース(Mind Commerce)の調査レポート「MEMS(微小電気機械システム) 2017 - 2022 年 : コンポーネント、製品、用途、垂直市場」は、MEMS のエコシステム、企業、製品、サービスなどの市場を査定しています。2017-2022 年の MEMS 市場の機能、機器、用途、垂直市場を予測し、世界市場と地域毎に提供しています。

内容は、

- ・ 内蔵システムと MEMS
- ・ MEMS 市場促進要因
- ・ 企業分析
- ・ MEMS 市場予測

となっています。

サマリーは以下の「データリソース社」の HP をご参照下さい。  
<http://www.dri.co.jp/auto/report/mindc/mcmems.html>

以上